

1 級論述試験対策 10 点アップ講座

人気講座

論述試験の必須問題と選択問題（企業分野・需給調整機関分野・教育機関分野）の解答をどのように記述すれば合格ラインを越えられるかを体験

東京	2022 年 12 月 3 日(土)	9 : 30~16 : 30	会場：東京都立産業貿易センター 浜松町会館 JR 浜松町駅徒歩 5 分	会員受講料 23,000 円	一般受講料 28,000 円
大阪	2022 年 11 月 26 日(土)	9 : 30~16 : 30	会場：神戸大学大阪 凌霜クラブ 梅田・大阪駅徒歩 5 分		
内容	<p>1 級第 12 回試験で、論述試験の得点を前回より 10 点アップしていただくための講座です。</p> <p>毎回講座を受講された方から、第 11 回の論述試験の点数が 10 点アップしたという実績があります。実技試験は、論述試験と面接試験の両方について合格ラインを超えることで初めて「合格」となります。最近の試験では、論述試験が難しくなる傾向にあることから、十分な対策を取ったうえで試験に臨むことが求められます。</p> <p>講座では、論述試験の必須問題と選択問題（企業分野・需給調整機関分野・教育機関分野）は、「実技試験」であるということを確認し、問題にどうアプローチすればよいかからスタートします。そのうえで、求められる解答の要素をどのような順番で、どのような表現で記述すると試験官から高得点が狙えるかをお伝えします。</p> <p>次は実践です。</p> <p>講座の中では、「論述試験」の解答における基本的考え方を示したうえで、必須問題と選択問題、それぞれ 3 つの設問にどのようにアプローチし、解答用紙に、何を、どのような順番で、どのように書いていくかをお伝えし、実際に解答を作成していただきます。</p> <p>「必須問題」の問 1、問 2、問 3 は、それぞれ、何を問われているのかを把握し、そこで求められている解答の要素を導き出します。特に難関の、問 3 の 9 行で、何を、どの順番で、どのように記述するのかをお伝えします。</p> <p>「選択問題」では、高得点を狙うことを目的として、3 つの分野から、試験場で解答する問題を選択する方法をお伝えします。そのうえで、問 1、問 2 の解答を作成するための考え方、さらに、それぞれ 4 行という限られた行数の中で、何を、どう書けばよいのか、そして、行数も 3 行+6 行と多く、高い得点が配賦されている問 3 の「ネットワークや環境」「根拠」の考え方と解答に書くべき要素、答案の著し方をお伝えします。問 3 は皆さんが迷う問題です。</p> <p>最後に、「論述試験」の解答の書き方のコツをお伝えします。たとえば、論述試験の解答で「体言止め」で用いることはどうでしょうか。文末を「～と思われる」や「・・・と推測される」と決めつけられない表現の方がよいでしょうか。</p> <p>そして、第 11 回試験から、マーカーの使用が禁止されました。事例相談者と事例指導者の発言を明確に区別するためには、どうすれば良いかもお伝えします。</p>				
	<p>必須問題と選択問題の、見立てかたや、問 1・問 2・問 3 について何を、どのような順番で、どのように書くべきかを説明します。</p> <p>その場で解答を作成していただき、何を記述すべきかを確認して、合格答案にするための書き方を講師から具体的にアドバイスします。</p>				